

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】令和4年12月8日(2022.12.8)

【国際公開番号】WO2022/085157

【出願番号】特願2022-556332(P2022-556332)

【国際特許分類】

F 0 2 M 2 6 / 7 4 (2 0 1 6 . 0 1)

F 1 6 K 1 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

F 0 2 M 2 6 / 7 4

F 1 6 K 1 / 0 6

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月13日(2022.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0006】

本開示に係る排気ガス再循環バルブは、軸線方向に駆動して排気ガス通路を開閉する弁体と、排気ガス通路を内部に有し、排気ガス通路につながった排気ガス流出口が弁体の軸線方向に直交する方向に設けられたハウジングと、弁体の軸線方向からハウジングを閉塞するプラグ部材と、排気ガス流出口に対向するハウジングの内壁面の前方に設けられたカバー部材とを備える。カバー部材は、ハウジングとプラグ部材とに挟持されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

30

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

軸線方向に駆動して排気ガス通路を開閉する弁体と、

前記排気ガス通路を内部に有し、前記排気ガス通路につながった排気ガス流出口が前記弁体の軸線方向に直交する方向に設けられたハウジングと、前記弁体の軸線方向から前記ハウジングを閉塞するプラグ部材と、

前記排気ガス流出口に対向する前記ハウジングの内壁面の前方に設けられたカバー部材と、を備え、

前記カバー部材は、前記ハウジングと前記プラグ部材とに挟持されている

40

ことを特徴とする排気ガス再循環バルブ。

【請求項2】

前記カバー部材は、前記プラグ部材と一体に形成されて前記ハウジングと前記プラグ部材とに挟持されている

ことを特徴とする請求項1に記載の排気ガス再循環バルブ。

50